

検 査 課

VII 検査課の業務概要

検査課は、「千葉県検査業務運営要領」に基づき、松戸健康福祉センター（保健所）及び検査課が設置されていない野田健康福祉センター（保健所）の検査業務を行っている。

業務内容は、結核予防事業、感染症予防事業、エイズ予防事業、原爆被爆者対策事業に係る臨床検査及び微生物検査並びに食品衛生監視事業に係る食品衛生検査である。

平成20年11月から、ノロウイルス検査が新たに検査課業務となり、感染症及び食中毒等の検査における検出の大半をノロウイルスが占める傾向にある。

1 臨床及び細菌検査業務

(1) 臨床検査

エイズ対策としてHIV検査464件、性感染症対策として梅毒検査459件、肝炎対策としてC型肝炎ウイルス抗体検査470件及びB型肝炎ウイルス抗原検査467件を実施した。原子爆弾被爆者健診に係る検査として尿検査を39件し、また結核菌検査を25件、ぎょう虫検査を1件実施した。（表1－（1））

(2) 細菌検査

平常時対策としての給食施設従事者、食品取扱者及び水道施設従事者等に対する腸内細菌検査を9,806件実施した。（表1－（2））

2 食品衛生検査業務

(1) 食品細菌検査

食品機動監視課、生活衛生課及び野田健康福祉センター（保健所）健康生活支援課が監視指導を推進するために管内施設等から収去した食品等について、215検体1,102項目の検査を実施した。（表2－（1））

(2) 乳類規格試験

野田健康福祉センター（保健所）健康生活支援課が収去した市販の牛乳等について、乳類規格試験を10検体32項目実施した。（表2－（2））

3 健康危機管理検査業務

(1) 感染症発生に伴う検査

健康危機事案である感染症発生時における検査を152件実施した。その結果、腸管出血性大腸菌0157を10件、腸管出血性大腸菌026を6件、腸管出血性大腸菌0111を2件、腸管出血性大腸菌091を1件検出した。（表3－（1）－ア、イ）

(2) 食中毒及び苦情食品等の検査

健康危機事案である食中毒及び苦情食品等の検査を413検体6,181項目実施した。

その結果、黄色ブドウ球菌31件、セレウス菌3件、ウェルシュ菌1件、カンピロバクター20件、ノロウイルス198件、ロタウイルス4件を検出した。（表3－（2）－ア、イ）

4 精度管理事業

(1) 内部精度管理

(2) 外部精度管理

検査結果の信頼性を確保するため、検査の都度行う内部精度管理及び外部機関が行う外部精度管理を実施した。内部精度管理、外部精度管理ともに良好な結果であった。

（表4－（1）、（2））

1 臨床及び細菌検査業務

(1) 臨床検査

表 1 - (1) 臨床検査実施状況

(単位：件)

区 分		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 30 年度		
					松戸保健所	野田保健所	
血 液	梅毒	TP 法	487	495	459	330	129
		STS 法	487	495	459	330	129
	HIV 抗原・抗体※ ¹		510	507	464	327	137
	HCV 抗体		501	494	470	334	136
	HB s 抗原		501	497	467	334	133
その他		-	-	-	-	-	
尿	糖		47	48	39	34	5
	蛋 白		47	48	39	34	5
	ウロビリノーゲン		47	48	39	34	5
	潜 血		47	48	39	34	5
喀 痰	結核菌	塗沫鏡検	1	10	-	-	-
		培 養	25	55	25	25	-
便	寄生虫	塗沫鏡検	-	-	-	-	-
		ぎょう虫卵	2	10	1	1	-

※ 1：平成 28 年度から平成 29 年 4 月までは HIV 抗体のみ実施

(2) 細菌検査

表 1 - (2) 平常時対策としての腸内細菌検査実施状況

(単位：件)

区 分		計	給食施設 従事者	食品 取扱業者	水道施設 従事者	その他
平成 28 年度		10,845	6,304	2,288	1,543	710
平成 29 年度		10,560	6,368	2,031	1,313	848(1) ※ ³
平成 30 年度		9,806	5,335(1) ※ ³	2,420(1) ※ ³	1,229	822
松戸 保健所	赤痢菌・チフス菌・パラチフス A 菌・サルモネラ属菌※ ²	2,820	2,069(1) ※ ³	43(1) ※ ³	572	136
	腸管出血性大腸菌 0157	4,385	2,171	1,214	378	622
	その他の菌	-	-	-	-	-
野田 保健所	赤痢菌・チフス菌・パラチフス A 菌・サルモネラ属菌※ ²	839	515	142	149	33
	腸管出血性大腸菌 0157	1,762	580	1,021	130	31
	その他の菌	-	-	-	-	-

※ 2：サルモネラ属菌は希望者のみに実施

※ 3：() 内は陽性数の再掲：陽性時のみ記載

2 食品衛生検査業務

(1) 食品細菌検査

表2-(1) 食品細菌検査実施状況

(単位：件)

区 分		平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成	
					松戸保健所	野田保健所
検 体 数		198	200	215	121	94
項 目 数		1,060	1,076	1,102	620	482
項目 内 訳	細菌数(生菌数)	193	194	206	118	88
	大腸菌群の有無	186	187	204	116	88
	黄色ブドウ球菌	191	192	206	118	88
	サルモネラ属菌	167	163	169	90	79
	腸炎ビブリオ	5	5	2	2	-
	腸炎ビブリオ最確数	25	26	27	18	9
	カンピロバクター	128	128	100	60	40
	E.coliの有無	10	8	5	2	3
	E.coliの最確数	2	2	-	-	-
	腸管出血性大腸菌 0157	153	156	163	91	72
	腸管出血性大腸菌 026	-	3	4	1	3
	腸管出血性大腸菌 0111	-	3	4	1	3
	腸管出血性大腸菌 0103	-	3	4	1	3
	腸管出血性大腸菌 0121	-	3	4	1	3
腸管出血性大腸菌 0145	-	3	4	1	3	

(2) 乳類規格試験

表2-(2) 乳類規格試験実施状況

(単位：件)

区 分		平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成	
					松戸保健所	野田保健所
検 体 数		10	10	10	-	10
項 目 数		32	32	32	-	32
項目 内 訳	細菌数(生菌数)	10	10	10	-	10
	大腸菌群の有無	10	10	10	-	10
	比重	3	3	3	-	3
	酸度	3	3	3	-	3
	無脂乳固形分	3	3	3	-	3
	乳脂肪分	3	3	3	-	3

3 健康危機管理検査

(1) 感染症発生に伴う検査

表3-(1)-ア 感染症発生に伴う検査実施状況

(単位：件)

区 分	事 案 数	計	便			その他
			経過者 ・患者	接触者 ・家族	その他	
平成 28 年度	23	103	39	64	-	-
平成 29 年度	35	235	98	137	-	-
平成 30 年度	27	152	73	79	-	-
松戸 保健所	コレラ菌	-	-	-	-	-
	赤痢菌	1	2	-	2	-
	チフス菌	1	6	3	3	-
	パラチフス A 菌	-	-	-	-	-
	腸管出血性大腸菌 0157	10	58	29	29	-
	腸管出血性大腸菌 026	2	21	13	8	-
	腸管出血性大腸菌 0111	3	16	8	8	-
	腸管出血性大腸菌 091	1	5	3	2	-
	腸管出血性大腸菌 0121	1	4	2	2	-
	腸管出血性大腸菌型不明	2	13	4	9	-
野田 保健所	コレラ菌	-	-	-	-	-
	赤痢菌	1	5	2	3	-
	チフス菌	-	-	-	-	-
	パラチフス A 菌	-	-	-	-	-
	腸管出血性大腸菌 0157	2	11	4	7	-
	腸管出血性大腸菌 026	2	9	3	6	-
	腸管出血性大腸菌 0121	1	2	2	-	-

表3-(1)-イ 感染症発生に伴う検査の検出菌内訳

(単位：件)

区 分	事 案 数	計	便			その他
			経過者 ・患者	接触者 ・家族	その他	
松戸 保健所	腸管出血性大腸菌 0157	2	10	8	2	-
	腸管出血性大腸菌 026	2	5	2	3	-
	腸管出血性大腸菌 0111	2	2	2	-	-
	腸管出血性大腸菌 091	1	1	1	-	-
野田 保健所	腸管出血性大腸菌 026	1	1	1	-	-

(2) 食中毒及び苦情食品等の検査

表3-(2)-ア 食中毒及び苦情食品等の検査実施状況

(単位：件)

区 分		計	食品	便	吐物	ふきとり	その他	
事案数								
平成 28 年度	87	検体数	550	2	526	-	22	-
		項目数	6,080	38	5,794	-	248	-
平成 29 年度	60	検体数	329	2	312	-	15	-
		項目数	4,571	4	4,418	-	149	-
平成 30 年度	62	検体数	413	7	374	-	32	-
		項目数	6,181	133	5,440	-	608	-
項目内訳		コレラ菌	299	7	260	-	32	-
		赤痢菌	300	7	261	-	32	-
		チフス菌	299	7	260	-	32	-
		パラチフス A 菌	299	7	260	-	32	-
		腸炎ビブリオ	299	7	260	-	32	-
		NAG ビブリオ	299	7	260	-	32	-
		ビブリオ ミミクス	299	7	260	-	32	-
		ビブリオ フルビアリス	299	7	260	-	32	-
		黄色ブドウ球菌	300	7	261	-	32	-
		サルモネラ属菌	299	7	260	-	32	-
		セレウス菌	299	7	260	-	32	-
		ウエルシュ菌	299	7	260	-	32	-
		カンピロバクター	300	7	261	-	32	-
		エルシニア エンテロコリチカ	299	7	260	-	32	-
		エロモナス フィドロフィア	299	7	260	-	32	-
		エロモナス ソブリア	299	7	260	-	32	-
		プレジオモナス シゲロイデス	299	7	260	-	32	-
		下痢原性大腸菌	299	7	260	-	32	-
		腸管出血性大腸菌 0157	299	7	260	-	32	-
		腸管出血性大腸菌 026	10	-	10	-	-	-
		ノロウイルス	359	-	359	-	-	-
		ロタウイルス	64	-	64	-	-	-
		アデノウイルス	64	-	64	-	-	-
	大腸菌群	-	-	-	-	-	-	
	細菌数 (生菌数)	-	-	-	-	-	-	
検出菌等内訳		黄色ブドウ球菌	31	-	30	-	1	-
		セレウス菌	3	-	-	-	3	-
		ウエルシュ菌	1	-	1	-	-	-
		カンピロバクター	20	1	19	-	-	-
		ノロウイルス	198	-	198	-	-	-
		ロタウイルス	4	-	4	-	-	-

表3-(2)-イ 食中毒及び苦情食品等の検査実施状況
(当年度保健所別・再掲)

(単位：件)

項 目		松戸保健所	野田保健所
コレラ菌		261	38
赤痢菌		262	38
チフス菌		261	38
パラチフスA菌		261	38
腸炎ビブリオ		261	38
NAGビブリオ		261	38
ビブリオ ミミクス		261	38
ビブリオ フルビアリス		261	38
黄色ブドウ球菌		261	39
サルモネラ属菌		261	38
セレウス菌		261	38
ウェルシュ菌		261	38
カンピロバクター		261	39
エルシニア エンテロコリチカ		261	38
エロモナス フィドロフィア		261	38
エロモナス ソブリア		261	38
プレジオモナス シゲロイデス		261	38
下痢原性大腸菌		261	38
腸管出血性大腸菌 0157		261	38
腸管出血性大腸菌 026		10	-
ノロウイルス		280	79
ロタウイルス		57	7
アデノウイルス		57	7
大腸菌群		-	-
細菌数(生菌数)		-	-
合 計		5,364	817
検 出 菌 等 内 訳	黄色ブドウ球菌	27	4
	セレウス菌	3	-
	ウェルシュ菌	1	-
	カンピロバクター	16	4
	ノロウイルス	157	41
	ロタウイルス	4	-

4 精度管理事業

(1) 内部精度管理

表4－(1) 内部精度管理実施状況

項 目		実施回数
添加回収試験	細菌数（生菌数）	44
繰り返し試験	細菌数（生菌数）	12
	牛乳理化学	-
陽性対照	腸管出血性大腸菌 0157	19
	腸管出血性大腸菌 026	2
	腸管出血性大腸菌 0111	2
	腸管出血性大腸菌 0103	2
	腸管出血性大腸菌 0121	2
	腸管出血性大腸菌 0145	2
	黄色ブドウ球菌	21
	大腸菌	23
	サルモネラ	18
	腸炎ビブリオ	4

(2) 外部精度管理

表4－(2) 外部精度管理実施状況

外部精度管理調査機関	調査項目
一般財団法人 食品薬品安全センター	E. coli 一般細菌数測定 腸内細菌科菌群 黄色ブドウ球菌 サルモネラ属菌 大腸菌群
千葉県衛生研究所	ウェルシュ菌 ノロウイルス